

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 感染分子薬学

(氏名) 小林信之

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. ウイルス感染症に関する分子生物学的研究
2. ウイルスベクターを利用したワクチン開発に関する研究
3. 抗ウイルス剤の探索と開発に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Yu Z.,Kabashima T.,Tang C.,Shibata T.,Kitazato K.,Kobayashi N., Lee MK and Kai M: Selective and facile assay of human immunodeficiency virus protease activity by a novel fluorogenic reaction. Analytical Biochemistry 397.197 – 201.2010(IF:3.2014)
2. Takizawa N.,Kumakura M.,Takeuchi K.,Kobayashi N and Nagata K:Sorting of influenza A virus genome segments after nuclear transport. Virology 401.248-256.2010.(IF:3.287)

(A-b) 総説

(A-c) 著書

(A-d) 紀要

B 邦文

(B-a) 原著論文

(B-b) 総説

(B-c) 著書

(B-d) 紀要

【学会発表】

A 国際学会

(A-a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

(A-b) 一般講演

B 国内学会

(B-a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

(B-b) 一般講演

1. 篠田賢範、園田恵美、春山貴弘、河野広朗、小林信之：長崎市で流行した Pandemic (H1N1) 2009 ウイルスの臨床検体からの分離及びタミフル耐性変異の検出。第 47 回日本ウイルス学会九州支部総会
2. 河野広朗、春山貴弘、篠田賢範、園田恵美、小林信之：長崎市で分離された新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析及び系統学的解析。2009 ウイルスの臨床検体からの分離及びタミフル耐性変異の検出。第 47 回日本ウイルス学会九州支部総会
3. 清水哲平、渡部健、小林信之：インフルエンザウイルスゲノム vRNP 核外輸送因子 NS2 の機能解析。2009 ウイルスの臨床検体からの分離及びタミフル耐性変異の検出。第 4

7回日本ウイルス学会九州支部総会

4. 渡部健、田村理、村上啓寿、小林信之：薬用植物由来新規核外輸送阻害剤の抗インフルエンザウイルス薬としての可能性。2009 ウイルスの臨床検体からの分離及びタミフル耐性変異の検出。第47回日本ウイルス学会九州支部総会
5. 一ノ瀬亨、渡部健、小林信之：ベータノダウイルス粒子の試験管内での解体・再構成。2009 ウイルスの臨床検体からの分離及びタミフル耐性変異の検出。第47回日本ウイルス学会九州支部総会
6. 清水哲平、渡部健、小林信之：インフルエンザウイルスvRNPNP核外輸送における複合体形成機構の解析。第58回日本ウイルス学会学術集会

【特許】

【研究費取得状況】

1. 表題；項目

ウイルスナノカプセルを用いた新規DDSの開発：挑戦的萌芽研究

【学会役員等】

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	106 編	（邦文）	1 編
総説（欧文）	4 編	（邦文）	48 編
著書（欧文）	3 編	（邦文）	38 編
紀要（欧文）	10 編	（邦文）	0 編
特許	5 件		